

問1 日本の気候に大きな影響を与える季節風（モンスーン）について、夏と冬の風向きと吹き出し元の組み合わせとして正しいものはどれか、選びなさい。 (2017年 徳島公立入試 類似)

1. 夏は太平洋側から南東の風が吹き、冬はユーラシア大陸側から北西の風が吹く。
2. 夏はユーラシア大陸側から北西の風が吹き、冬は太平洋側から南東の風が吹く。
3. 夏は太平洋側から北西の風が吹き、冬はユーラシア大陸側から南東の風が吹く。
4. 夏はユーラシア大陸側から南東の風が吹き、冬は太平洋側から北西の風が吹く。

問2 日本列島の東側に位置する太平洋上では、北から流れてくる千島海流（親潮）と、南から流れてくる日本海流（黒潮）がぶつかり合っています。この海域が「潮目（潮境）」と呼ばれ、世界的な好漁場となっている理由として適切な説明を選びなさい。 (2020年 新潟県公立入試 類似)

1. 寒流と暖流が混ざり合うことでプランクトンが豊富になり、それらを餌とする両海流の魚が集まるため
2. 寒流が運んでくる流氷が、魚の隠れ家や産卵場所として最適な環境を形成するため
3. 暖流の熱によって海水の蒸発が盛んになり、海中の塩分濃度が魚の成長に適した水準まで高まるため
4. 海流がぶつかる衝撃によって海底の栄養分が地表近くまで巻き上げられ、水温が急激に上昇するため

問3 近年の日本の都市部では、短時間の集中豪雨によって道路や住宅が浸水する「都市型水害」が頻発しています。都市部において、このような水害が起こりやすくなっている主な理由として最も適切な説明はどれですか。 (2022年 佐賀公立入試 類似)

1. 地面がアスファルトやコンクリートで覆われている範囲が広いため、雨水が地下にしみ込みにくく、短時間で河川や下水道に水が集中するから。
2. 都市部周辺で森林の整備が進みすぎた結果、樹木が雨水を蓄える能力が限界に達し、地表を流れる雨水の量が増加したから。
3. 市街地に建設されたダムや遊水地の数が多すぎるため、放流された水が市街地の排水路に逆流して浸水を招いているから。
4. 高層ビルが密集して風通しが悪くなったことで、上空の雨雲が移動できなくなり、特定の地域だけに長時間雨が降り続くから。

問4 日本の気候区分の一つである「瀬戸内の気候」において、香川県高松市のように年間降水量が1,150.1ミリ程度と少なく、年間を通じて温暖で晴天が多い理由として、地形的要因から説明したものと最も適切なものはどれか。 (2024年 神奈川県公立入試 類似)

1. 北側の中国山地と南側の四国山地によって、夏・冬それぞれの季節風が遮られるため。
2. 寒流である親潮が近くを流れているため、上昇気流が発生しにくく雲が発達しないため。
3. 年間を通じて乾燥した小笠原気団の勢力下にあるため、雨雲が停滞しにくいから。
4. 冬に北西から吹く湿った季節風が、関門海峡を抜けて直接流れ込むのを防いでいるから。

問5 九州地方の周辺を流れる海流について、太平洋側を北上する強い流れの暖流と、九州の西側から東シナ海を通り、日本海側へと流れていく暖流の名称の組み合わせとして正しいものを選びなさい。 (2024年 山形公立入試 類似)

1. 日本海流（黒潮）と対馬海流
2. 日本海流（黒潮）とリマン海流
3. 千島海流（親潮）と対馬海流
4. 千島海流（親潮）とリマン海流

問6 九州地方の中央部に位置する阿蘇山において、その山頂付近に広大なくぼ地が存在する地形的特徴について説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2023年 徳島公立入試 類似)

1. 火山の噴火によってマグマが噴出した後、地表面が陥没してできたものである。
2. 火山灰などの噴出物が広範囲に堆積し、水はけの悪い平坦な台地となったものである。
3. 川の流れによって運ばれた土砂が、山のふもとに堆積して形成されたものである。
4. 山地の間にある平地が、断層の活動や周囲の隆起によって周囲を山に囲まれたものである。

問7 日本の夏における気候の特徴を決定づける季節風について、その風が吹き出す方位と、風が持っている性質の組み合わせとして最も適切なものを選択してください。 (2025年 和歌山公立入試 類似)

1. 南東の太平洋側から吹き、暖かく湿っている
2. 北東の太平洋側から吹き、冷たく湿っている
3. 北西のユーラシア大陸側から吹き、冷たく乾いている
4. 南西のユーラシア大陸側から吹き、暖かく乾いている

問8 火山の噴火による爆発や、噴火した後に地下のマグマが消失することで、地表が陥没して形成された大規模なくぼ地状の地形を何と呼びますか。 (2018年 高知公立入試 類似)

1. カルデラ
2. フィヨルド
3. フォッサマグナ
4. 三角州

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> 夏は太平洋側から南東の風が吹き、冬はユーラシア大陸側から北西の風が吹く。	日本列島は、ユーラシア大陸と太平洋の間に位置しているため、季節によって吹く方向が変わる季節風の影響を強く受ける。夏は海洋（太平洋）が大陸よりも温度が上がりやすく高気圧となるため、湿った空気を伴う南東の風が吹く。対して冬は、冷え込みが激しいユーラシア大陸側が乾燥した高気圧となるため、冷たく乾いた北西の風が日本に向かって吹き出す。
問2	<b>答え 1</b> 寒流と暖流が混ざり合うことでプランクトンが豊富になり、それらを餌とする両海流の魚が集まるため	寒流である千島海流（親潮）と暖流である日本海流（黒潮）がぶつかる潮目では、海水が攪拌（かくはん）されることで栄養分が浮上し、プランクトンが大量に発生します。そのため、寒流を好む魚（サケ・サンマなど）と暖流を好む魚（カツオ・マグロなど）の両方が集まる豊かな漁場となります。
問3	<b>答え 1</b> 地面がアスファルトやコンクリートで覆われている範囲が広いので、雨水が地下にしみ込みにくく、短時間で河川や下水道に水が集中するから。	都市部では宅地開発や道路整備が進み、地表の多くがアスファルトやコンクリートで固められています。これにより、森林や田畑のような「雨水を一時的に蓄え、地下に浸透させる機能」が失われています。その結果、降った雨が短時間で一気に下水道や周辺の河川へ流れ込み、その排水能力や許容量を超えてしまうことが、都市型水害の大きな要因となっています。
問4	<b>答え 1</b> 北側の中国山地と南側の四国山地によって、夏・冬それぞれの季節風が遮られるため。	瀬戸内の気候が乾燥する主な理由は、北を中国山地、南を四国山地という高い山々に囲まれている点にあります。夏は南東からの湿った季節風が四国山地に遮られ、冬は北西からの湿った季節風が中国山地に遮られるため、湿った空気が瀬戸内海沿岸に届きにくくなり、年間を通じて降水量が少なくなります。
問5	<b>答え 1</b> 日本海流（黒潮）と対馬海流	九州地方の周辺には、低緯度側から暖かい海水を運ぶ二つの主要な暖流が流れています。太平洋側を北上する海流は日本海流（黒潮）と呼ばれます。一方、九州の西側で日本海流から分岐し、対馬海峡を通過して日本海側へと流れ込む海流が対馬海流です。これらはいずれも暖流であるため、周辺地域の気温を高く保つ役割を果たしています。
問6	<b>答え 1</b> 火山の噴火によってマグマが噴出した後、地表面が陥没してできたものである。	阿蘇山に見られる広大なくぼ地は「カルデラ」と呼ばれます。これは大規模な火山活動によって地下のマグマが地上に出た結果、地表が陥没して形成されました。他の選択肢について、火山灰の堆積によるものは「シラス台地」、土砂の堆積によるものは「扇状地」、周囲を山に囲まれた平地は「盆地」などの説明です。
問7	<b>答え 1</b> 南東の太平洋側から吹き、暖かく湿っている	日本の夏は、小笠原気団（太平洋高気圧）が発達するため、南東の太平洋側から日本列島に向かって季節風が吹き込みます。この風は低緯度の海洋上を通過してやってくるため、大量の水蒸気を含んだ「暖かく湿った空気」という性質を持っており、これが日本の蒸し暑い夏の主因となります。北西から吹く冷たく乾いた風は冬の季節風の特徴です。
問8	<b>答え 1</b> カルデラ	火山活動の結果として形成される特有の地形で、スペイン語で「鍋」を意味する言葉に由来します。大規模な噴火によって地下のマグマだまりが空になり、そこが崩れ落ちる（陥没する）ことで大きなくぼ地が生まれます。日本では熊本県の阿蘇山などがその代表例として知られています。